

# ○「地域の課題を探る」

京都府南山城村 大河原地区連絡会議(平成30年度第1回)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年9月5日 10~12時
- 場 所: 南山城村役場 第2会議室
- 出 席 者: 委員6人、事務局1人
  
- 報 告 者: 森嶋 徹 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 緩傾斜地の緑茶栽培と狭小な水田の水稲作が主流の中山間地域の農業。
- 大規模な緑茶と水稲を栽培する中核的な農家と小規模に水稲を栽培する兼業農家。  
どちらも担い手と後継者不足に悩む。

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 小規模な農業経営が成り立たないため、農業離れが進む。
- 担い手の農作業受託で、水田作が辛うじて継続している。
- 獣害柵の設置は進んでいるが、獣害(猪、鹿、猿)被害により耕作者の意欲まで無くなりつつある。
- 道の駅への出荷する野菜等の生産により、農地利用の遊休化を抑制する。
- 野菜生産等による特産化を図り、守るべき農地と遊休化する農地の線引きを行う。
- 
- 

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援